

証券コード 4064

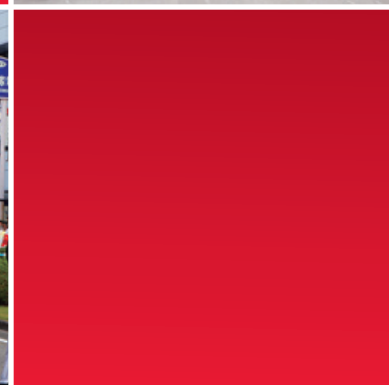


# 第127期 中間期 株主通信

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日

 日本カーバイド工業株式会社

NIPPON CARBIDE INDUSTRIES CO., INC.



## 私たちのミッション

技術力で価値を創造し、  
より豊かな社会の発展に貢献する。

私たちは、お客様からのニーズを原点に、培ってきた技術を究め、融合させることで、価値ある製品を広く提供し、持続可能な社会の実現に貢献し続けていきます。

## 私たちのビジョン

キラリと光る、価値ある企業グループ

社員一人ひとりが自分の仕事に自信と誇りを持ち、成長を実感しながら、関わる全ての人の満足度を追求することで、社会においてキラリと存在感が光る、価値ある企業を目指します。

## 私たちが大切にしている価値観

誠実であること  
Sincerity

奉仕すること  
Service

協力すること  
One-NCI

創造すること  
Innovation

代表取締役社長  
杉山 孝久



## 「キラリと光る、価値ある企業グループ」を目指して

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社グループ第127期中間連結会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の事業概況につきまして、ご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における世界経済は、全体的に緩やかな成長となりましたが、米国追加関税措置により減速懸念が強まるとともに、先行きに対する不透明感が増大しました。

当社グループの事業では、電子・機能製品は、医薬品や農薬向け製品の出荷が増加しましたが、光学関連分野向け粘・接着剤では中国市場での競争激化により出荷が減少しました。フィルム・シート製品は、米国追加関税措置により米国向け製品の出荷が減少しましたが、ブラジルでの二輪車関連製品や欧州でのナンバープレート向け製品の出荷が増加しました。建材関連は、戸建住宅用アルミ建材の売上が増加しました。エンジニアリングは、EPC事業（Engineering：設計 Procurement：調達 Construction：建設の3工程を一貫して引き受ける事業）

の拡大により売上が増加しました。

このような状況のもと、当社グループの当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は前年同期比891百万円（3.8%）増の24,262百万円、営業利益は前年同期比830百万円（65.7%）増の2,093百万円、経常利益は前年同期比982百万円（71.1%）増の2,363百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比683百万円（80.6%）増の1,531百万円となりました。

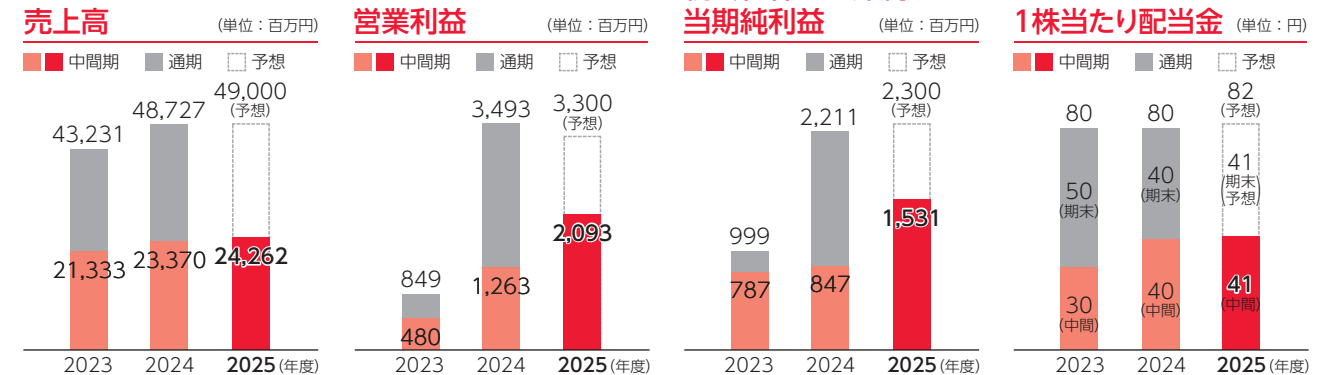
当中間期の配当につきましては、2025年11月10日開催の取締役会において、1株当たり41円と決議いたしました。

当社グループの今後の見通しにつきましては、2025年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はなく、米国の関税政策の影響を考慮し、売上高49,000百万円、営業利益3,300百万円、経常利益3,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,300百万円としております。

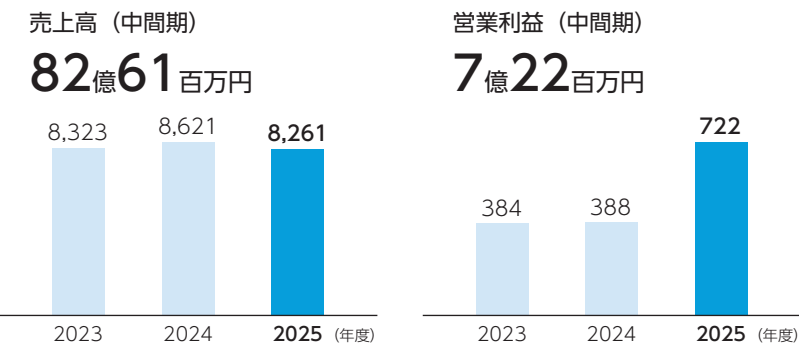
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

## 業績ハイライト



電子・機能製品



主な取扱製品  
機能化学品／機能樹脂／電子素材



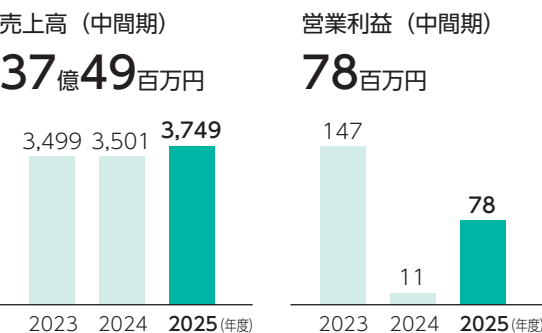
半導体用金型クリーニング剤

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品や医薬品原薬、医農薬中間体などの機能化学品、粘・接着剤などの機能樹脂、半導体用金型クリーニング材やセラミック基板などの電子素材であります。

機能化学品は、エレクトロニクス市況の緩やかな回復に伴う半導体及び電子部品向け製品の出荷増や、医薬品や農薬向け製品の出荷増に加え、製品価格の改定により損益へプラスに影響し、前年同期比増収増益となりました。機能樹脂は、原材料価格の下落により損益へプラスに影響したことに加え、中国での拡販により医療向け原料の出荷が増加したものの、中国市場での競争激化により、光学関連分野向け粘・接着剤の出荷が減少し、前年同期比減収減益となりました。電子素材は、電子部品向け製品の出荷増に加え、製品価格の改定により損益へプラスに影響し、前年同期比増収増益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は前年同期比360百万円（4.2%）減の8,261百万円、セグメント利益は前年同期比333百万円（85.9%）増の722百万円となりました。

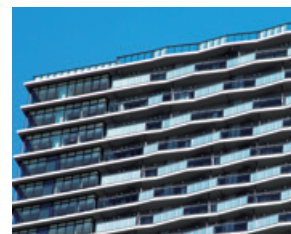
建材関連



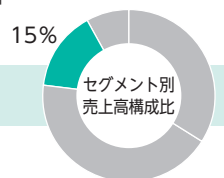
主な取扱製品  
住宅用アルミ建材／住設用樹脂押出成形品

当該事業の主な取扱製品は、住設用樹脂押出成形品や戸建住宅用アルミ手すり、マンション向け高強度・高機能アルミ手すりなどのアルミ建材であります。

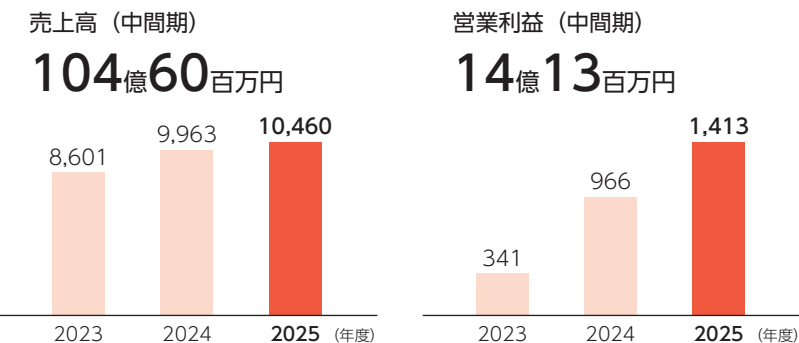
アルミ地金価格高騰による原材料価格上昇により損益へマイナスに影響も、戸建住宅用アルミ建材の売上が増加し、当セグメントの売上高は前年同期比247百万円（7.1%）増の3,749百万円、セグメント利益は前年同期比66百万円（560.5%）増の78百万円となりました。



高強度・高機能手すり



フィルム・シート製品



主な取扱製品  
フィルム／ステッカー／再帰反射シート\*

\*再帰反射とは、入射した光が再び入射方向へ帰る反射現象をいいます。



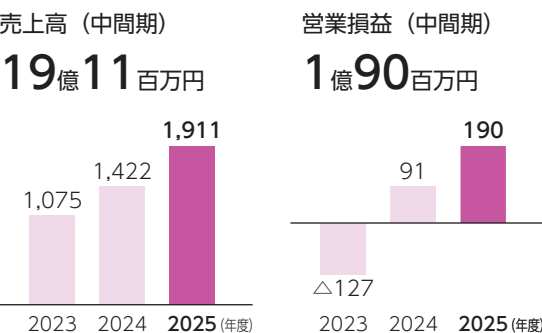
ナンバープレート用再帰反射シート

当該事業の主な取扱製品は、フィルム、ステッカー、再帰反射シートなどであります。

フィルムは、中国での拡販により、レーザーマーキングラベルの出荷が増加し、前年同期比増収増益となりました。ステッカーは、米国での拡販により、自動車向け3Dエンブレムの出荷増に加え、ブラジルでの二輪車生産台数の増加により、二輪車関連製品の出荷が増加し、前年同期比増収増益となりました。再帰反射シートは、米国追加関税措置により、米国向け製品の出荷が減少したものの、欧州でのナンバープレート向け製品の出荷増に加え、製品価格の改定により損益へプラスに影響し、前年同期比増収増益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は前年同期比496百万円（5.0%）増の10,460百万円、セグメント利益は前年同期比446百万円（46.2%）増の1,413百万円となりました。

エンジニアリング



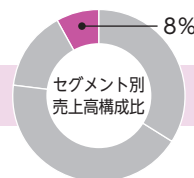
主な取扱製品  
産業プラントの設計・施工・設備

当該事業の主な内容は、鉄鋼・化学・電力・環境分野の産業プラントの設計・施工・設備やカーボンニュートラルトランジション設備などであります。

製鉄分野向け大型工事案件の完工による売上増に加え、EPC事業（Engineering：設計 Procurement：調達 Construction：建設の3工程を一貫して引き受ける事業）の拡大により売上が増加し、当セグメントの売上高は前年同期比488百万円（34.3%）増の1,911百万円、セグメント利益は前年同期比99百万円（109.7%）増の190百万円となりました。



粉体専用実験工場

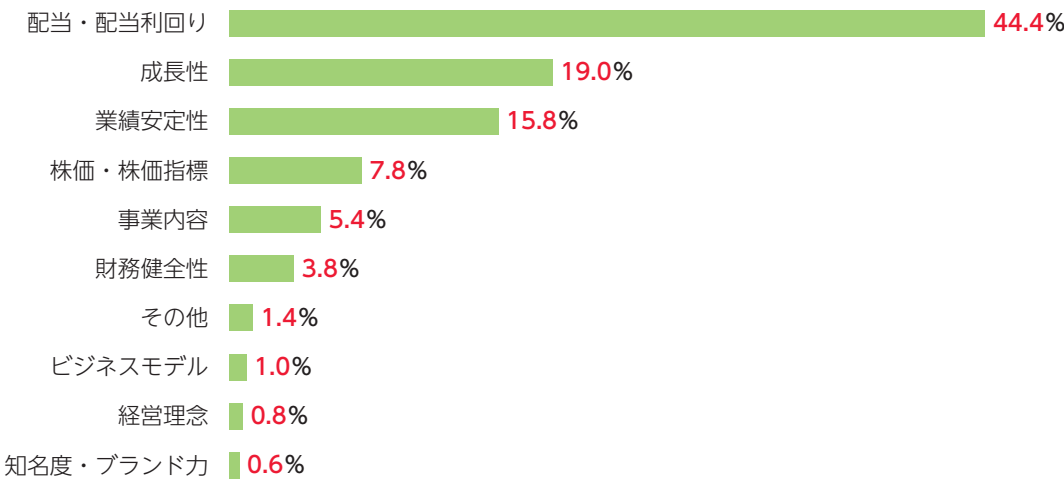


株主アンケート結果ご報告

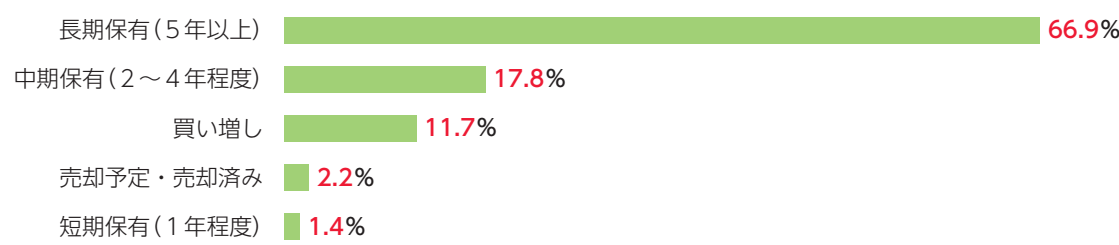
当社グループは、IR（投資家向け広報）活動の一環として、株主の皆様とのコミュニケーション促進を図るべく、アンケートを実施させていただいております。2025年6月の株主総会のインターネットによる議決権行使の際にあわせてお願いしましたアンケートにおきまして、1,942名の株主様よりご回答をいただきました。

貴重なご意見・ご要望は、今後のIR活動及び株主通信作成の参考にさせていただきます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

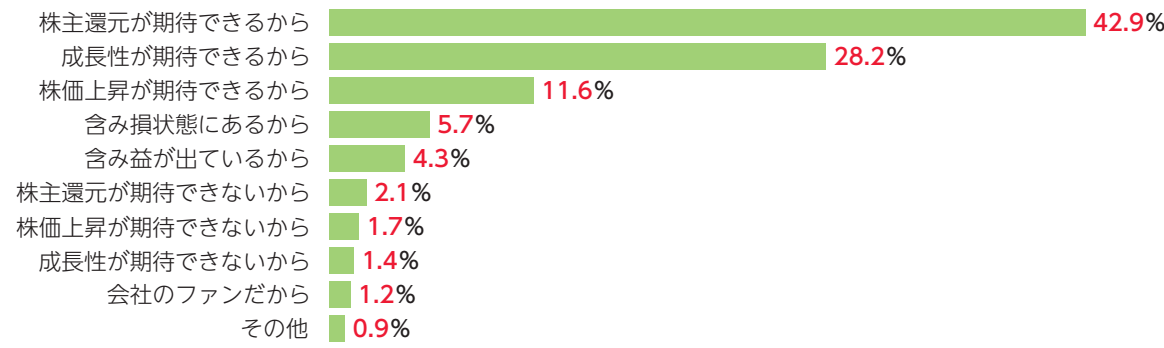
Q1 当社株式取得時に重視したことをお聞かせください。



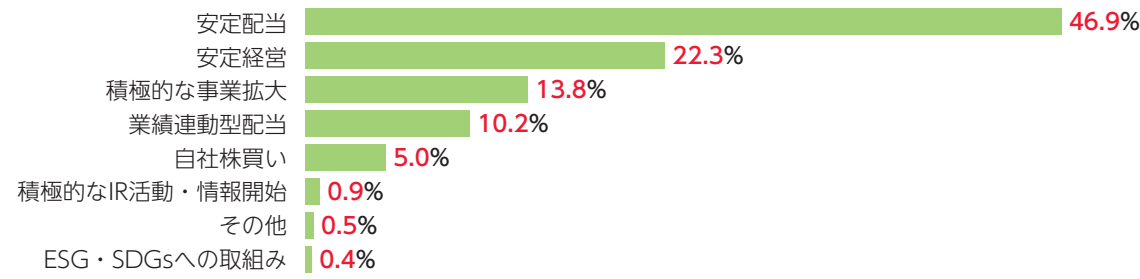
Q2 当社株式の今後の保有方針をお聞かせください。



Q3 保有方針選択の理由をお聞かせください。



Q4 当社に最も期待することをお聞かせください。



Q5 当社へのご意見・ご要望等がございましたら、ぜひお聞かせください。

実直な感じの社風がいいと思います。

男性40代 会社員

内部留保と株主還元のバランスをとりながら成長することを期待しています。

男性60代 会社員

ホームページなどで、事業内容をわかり易く掲載していただきたい。

女性80代以上 無職

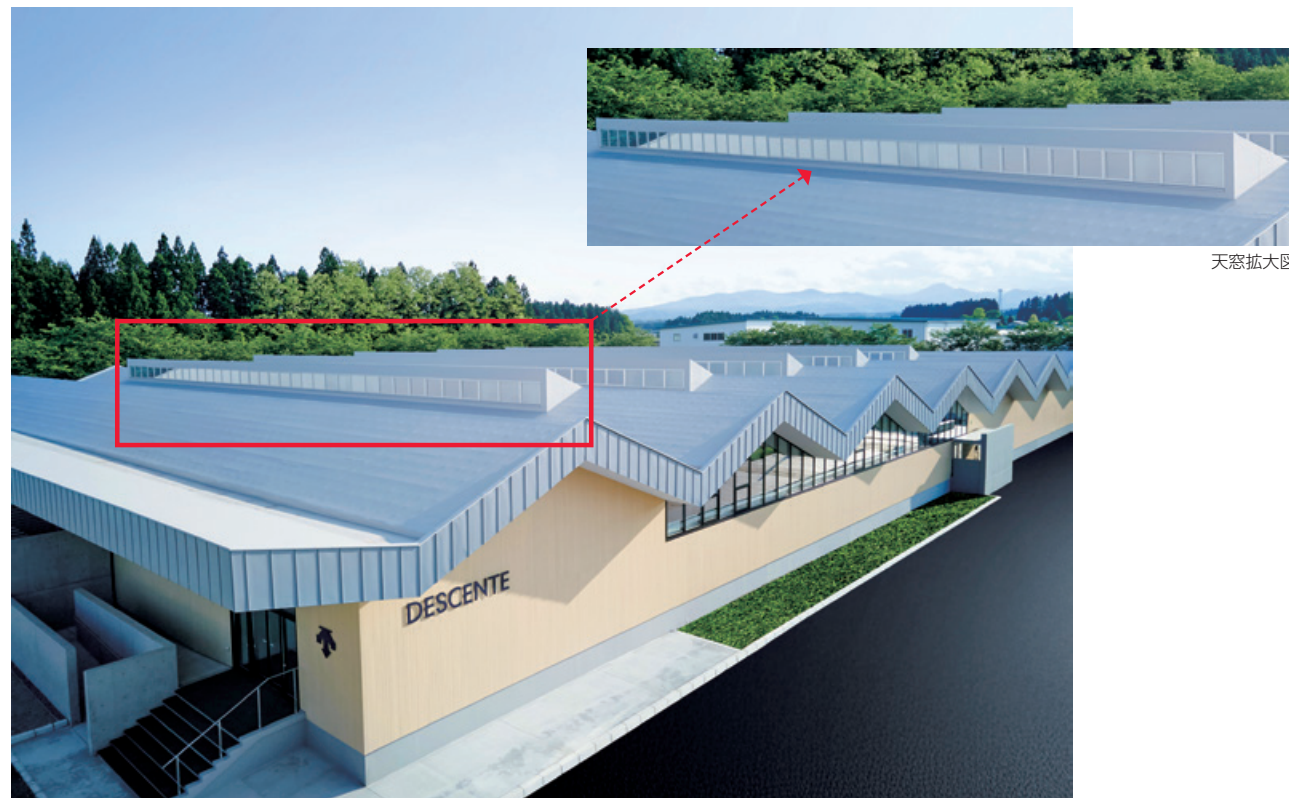
目先の利益追求より長期的社会貢献、地域貢献を目指してもらいたい。

男性60代 無職

## 光拡散フィルムがデサントアパレル新工場の天窓に採用

「光拡散フィルム」が、デサントアパレル株式会社水沢工場（岩手県奥州市）内の新工場において、天窓部分に採用されました。

本製品は、強い直射光の眩しさを和らげ、光を広く均一に拡散させることで、快適な室内環境を実現します。特に、太陽光が直接差し込むことで生じる床面・壁面・家具などへの強い光を軽減、空間全体に柔らかく自然な光を届ける効果があります。これにより、作業効率の向上と省エネルギーにも寄与します。



天窓拡大図

デサントアパレル水沢工場天窓に採用された「光拡散フィルム」

## 米国Newsweekにおける特集「日本の隠れたチャンピオンの台頭」において日本カーバイド工業が掲載されます

当社は、米国の国際的な経済・社会誌『Newsweek』の特集「日本の隠れたチャンピオンの台頭」に掲載される予定です。当社が注力するエレクトロニクス及びセーフティ領域での取り組みや、独自技術による「One&Only」製品の展開、そして社会課題への対応を通じた価値創出について紹介されます。

また、代表取締役社長 杉山孝久のインタビュー記事が、成長企業の取り組みを世界に発信するWEBメディア『The Worldfolio』にも掲載される予定です。掲載後、当社ホームページのトピックスでお知らせする予定ですので、ぜひご覧ください。

<https://www.carbide.co.jp/topics/>



「統合報告書2025」発行

「統合報告書2025」を当社ホームページに公開いたしました。

統合報告書とは、売上高や資産などの財務情報に加えて、価値創造戦略やサステナビリティの取組みなどの非財務情報を統合して報告するレポートで、今回で4年目の発行となりました。

本年度は、昨年度に引き続き「キラリ＝One&Only」を全体テーマに掲げ、トップメッセージでは成長ドライバーや独自性のある製品開発について紹介しています。また、社外取締役による対談では、当社のガバナンス体制やNCIグループならではの価値創出についても語られております。

皆様におかれましても、二次元コードや以下リンク先よりアクセスいただき、ぜひご覧ください。

<https://www.carbide.co.jp/topics/integratedreport2025/>



会社情報

会社の概要 (2025年9月30日現在)

社名	日本カーバイド工業株式会社
設立	1935年 (昭和10年) 10月
資本金	7,797,898,752円
本社	東京都港区港南二丁目16番2号
営業所	大阪
工場	富山県：魚津市、滑川市 ウオヅシ ナメリカワシ 京都府：向日市 ムコウシ
研究所	富山県：滑川市 ナメリカワシ
従業員数	連結 3,428名 単体 537名

役員 (2025年9月30日現在)

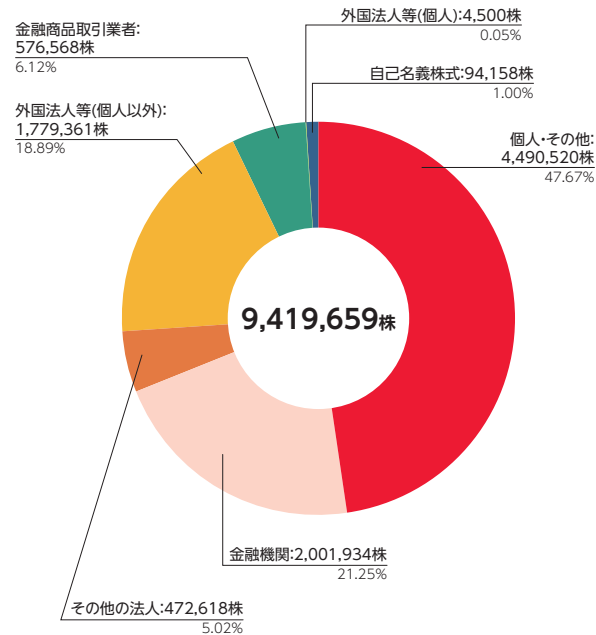
代表取締役社長 社長執行役員CEO	杉山孝久
代表取締役 副社長執行役員CFO	井口吉忠
取締役 常務執行役員CTO	長谷川幸伸
取締役 常務執行役員	横田祐一
取締役 (社外)	吉岡早月
取締役 (社外)	門向裕三
常勤監査役 (社外)	林文明
常勤監査役 (社外)	澤田征洋
監査役 (社外)	鮎川裕美
監査役 (社外)	岡あゆみ

株式情報

株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数	12,000,000株
発行済株式の総数	9,419,659株
株主数	10,934名 (前期末比314名減)

株主 (所有者別株式分布状況)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿 管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 公告掲載URL <a href="https://www.carbide.co.jp/">https://www.carbide.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合 は、日本経済新聞に掲載いたします。

- 【ご注意】
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
  - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社ホームページのご案内▶

ホームページアドレス

<https://www.carbide.co.jp>





# 日本カーバイド工業株式会社

〒108-8466 東京都港区港南二丁目16番2号  
Tel 03 (5462) 8200 Fax 03 (5462) 8244

表紙写真 当社グループの世界各国の仲間たち

UD  
FONT

